

①旭川上流域

河川の特徴

- ・**蒜山高原**から下り、起伏の大きい**1,000m級の中国山地**が広がる。
- ・本川ダムとして直下に**温泉街**を擁する**湯原ダム**がある。

流域の特徴

- ・**蒜山高原、湯原温泉**は**全国的知名度の高い観光エリア**である。
- ・**酪農等の畜産、木材加工等の農林業**が盛んな地域でもある。

重点対策

- 水源かん養**
 - ・農林業による水源かん養等
- 流出抑制対策**
 - ・沿川市街地、観光地の流出抑制対策等

②旭川中流域

河川の特徴

- ・扇状地性低地の**落合盆地**が広がり、高瀬舟寄港地等で栄えた**勝山、久世、落合等の市街地**が連なる。
- ・本川に**旭川ダム**があり、下流は**建部、御津等の市街地**が続く。

流域の特徴

- ・**吉備高原**は、空港等への**交通利便性**から**宅地造成、企業誘致**が進む。
- ・**ブドウ等の果樹栽培や稲作等の農業**が盛んな地域である。

重点対策

- 流出抑制対策**
 - ・沿川市街地等の流出抑制対策等

重点対策

- 土地利用規制**
 - ・浸水エリアへの立地抑制等

重点対策

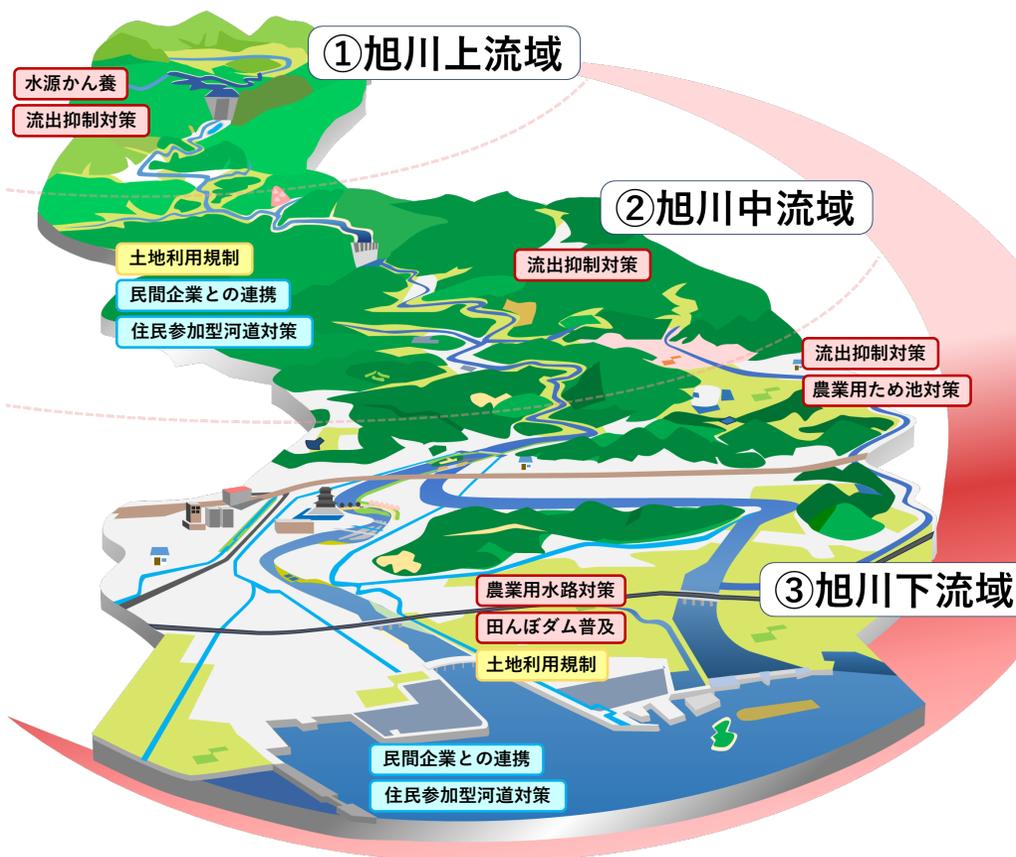
- 民間企業との連携**
 - ・民間企業と連携した貯留対策等

重点対策

- 住民参加型の河道対策**
 - ・住民参加型の樹木の再繁茂防止等

<旭川流域における流域治水対策（イメージ）>

- 一級河川が**中心市街地を貫流**する全国的に珍しい河川であり、**江戸時代**より英知を結集して**中心市街地を守るための治水対策**が進められて来た。
- この素晴らしい**歴史・文化を継承・発展**させ、**岡山県の中心となる業務・商業・生産の拠点集積**や**上下流に多数点化する居住地、観光地の被害軽減**を目指して、**流域全体の関係者が連携して流域治水対策を推進**する。



③旭川下流域

河川の特徴

- ・**中原**より下流は、**流送土砂**と**干拓**により形成された**岡山平野**が広がる。
- ・江戸時代に**中心市街地の治水対策**として**百間川**が整備され、現在は**放水路事業が完了**している。

流域の特徴

- ・**一大観光エリアの岡山城・後楽園**や岡山県の中心となる**業務・商業・生産拠点が集積**し、**人口が集中する岡山市街地**が広がる。
- ・**干拓等**により形成された**広大なゼロメートル地帯**では、**農業用水路、田んぼ**が**広く分布**。

重点対策

- 流出抑制対策**
 - ・市街地等における流出抑制対策等

重点対策

- 農業用水路、ため池対策**
 - ・既存用水路における事前水位調整等

重点対策

- 田んぼダムの普及**
 - ・堰板の普及等の促進等

重点対策

- 土地利用規制**
 - ・浸水エリアへの立地抑制等

重点対策

- 民間企業との連携**
 - ・民間企業と連携した貯留対策等

重点対策

- 住民参加型の河道対策**
 - ・住民参加型の樹木の再繁茂防止等

岡山三川の比較

- <最大> **幹川流路延長** 142km
- <最大> **想定氾濫区域内人口、人口密度**
- <最大> **年間商品販売額** 約2.6兆円

その他特記事項

- 官民連携組織**が活動。
 - ・**旭川かわまちづくり**
 - ・**旭川流域ネットワーク** 等

旭川

河川・流域の特性（補足資料）【議論用資料】

河川の特徴

中心市街地を貫流し、江戸時代からの治水事業の歴史を有する

- ・一級河川の本川が岡山中心市街地を貫流する全国的にも珍しい河川である。
- ・旭川沿川には、岡山城・後楽園や城下町として栄えたエリアに、岡山県庁、業務・商業・文化等の施設が集中している。
- ・江戸時代に中心市街地の治水対策として百間川が整備され、現在までに本川ダムである旭川ダムの整備や旭川放水路（百間川）河川改修事業が進められている。



中上流は旭川沿川に市街地が連なり、中流からは樹林化等の傾向

- ・旭川沿川は、高瀬舟の寄港地等として繁栄した勝山、久世、落合、本川ダムがある旭川ダム下流には建部、御津等の市街地が断続的に連なり、河川とともに一体的に発展した豊かな地域であるが、洪水発生時にははん濫を繰り返してきた。
- ・中流からは河床勾配が緩やかになり、土砂堆積による砂州の形成や樹林化が進行しやすい傾向にある。



流域の特徴

岡山県の中核拠点が集積、市街化が進むが農業も健在

- ・岡山三川で最も流域内人口が大きい。
- ・県庁所在都市の岡山市では、岡山県内の業務・商業・産業の中核拠点となっている。
- ・洪水による機能麻痺は、岡山県内に留まらず、中国、四国等広域に影響が波及する。
- ・干拓等により形成された広大なゼロメートル地帯では市街化が進むが、農業が営まれ、かんがい用水路や水田も健在である。

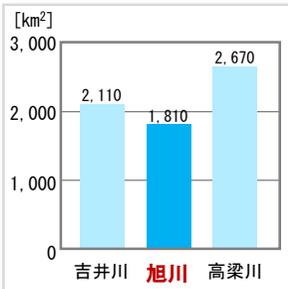


上中流は観光、農林業が盛ん、中流では宅地開発、企業誘致も進む

- ・蒜山高原は全国有数の観光地で、酪農、林業等の農林業が盛んである。湯原ダム直下には湯原温泉もある。
- ・久世は上流の中心拠点として機能している。
- ・建部、御津等は、ブドウ等の果樹栽培や稲作等の農業が盛んな地域であるが、近年は高速道路、空港等への交通利便性から宅地造成、企業誘致も進んでいる。

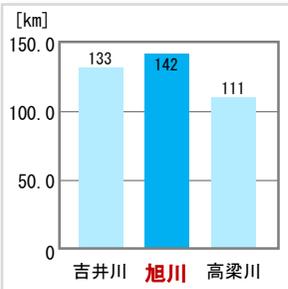


<流域面積>



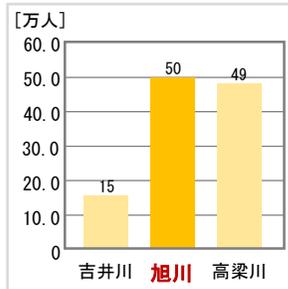
出典 河川現況調査（基準年：平成27年）

<幹川流路延長>



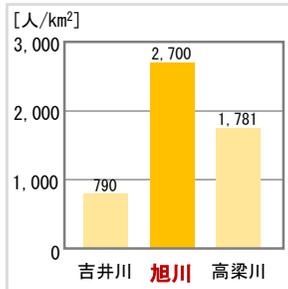
出典 河川現況調査（基準年：平成27年）

<想定氾濫区域内人口>



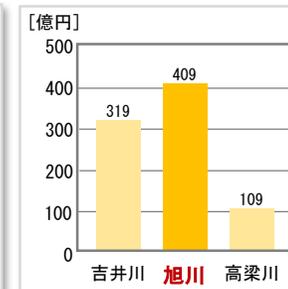
出典 河川現況調査（基準年：平成27年）

<想定氾濫区域内人口密度>



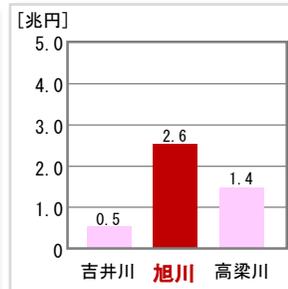
出典 河川現況調査（基準年：平成27年）

<一般資産等被害額（内水）>



出典 水害統計調査（H5年～R3年）

<年間商品販売額>



出典 平成26年商業統計速報
各河川流域の構成市町村を単位とした集計
(政令市は区を単位とした集計)

岡山三川の比較

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

上中下流が一体となった旭川本川への流出抑制と内水被害対策

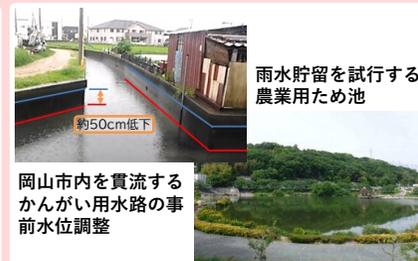
- ・中上流には旭川沿川に市街地が点在し、下流の岡山平野には広大な市街地が広がる。
- ・旭川本川への流出抑制と各地の内水被害の軽減を図るためには、上下流が一体となった流出抑制対策が必要である。
- ・このため、公共施設、民間施設等の新規整備・更新に合わせて雨水流出抑制対策が図られるよう、公共施設への貯留施設の設置や民間施設への規模に応じた貯留施設整備に対する協議の義務化等を進める。



【先導例】ハレノワ芸術創造劇場で民間に求める貯留機能の3倍確保（岡山市）

市街地に張り巡らされた既存の農業用水路、ため池等の有効活用

- ・旭川では、農業用水として旭川合同堰等から取水され約9,200haに供給されている。
- ・農業用水路が市街地の中心を通り、岡山平野に広く張り巡らされている。農業用ため池も中下流部に多数点在する。
- ・このため、既存の農業用水路、農業用ため池を有効活用して洪水時の流出抑制が図られるよう、農業用水路の事前水位低下やため池の池底の掘り下げ等により、雨水貯留機能の向上を図る。



岡山市内を貫流するかんがい用水路の事前水位調整

【先導例】農業用ため池の池底を掘り下げて雨水貯留機能を強化（岡山市）

田んぼダムの普及促進に向けた取り組みの本格化

- ・中上流は、稲作や果樹栽培等が盛んで旭川本川や支川沿いに水田も多く分布。
- ・岡山平野には江戸時代の干拓で整備された広大な水田が現在も営まれている。
- ・このため、既存の田んぼを有効活用して洪水時の流出抑制が図られるよう、田んぼの排水口への調整板（堰板）設置の普及促進等を図ることにより、面的な雨水貯留機能の向上を進める。

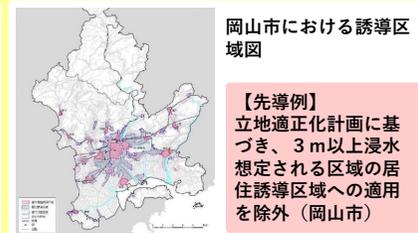


【先導例】市が主導してモデル地区を設定し、田んぼダムの取組を推進（赤磐市）

被害対象を減少させるための対策

宅地化が進む低平地や旭川沿川の市街地における土地利用の適正化

- ・江戸時代に干拓が広く進められ、広大な低平地が整備された。岡山市街地では低平地を中心に宅地化が進み、隣接する赤磐市南部や岡山市瀬戸町等も宅地化が進んでいる。
- ・また、中上流の沿川市街地も多く存在する。
- ・このため、想定氾濫区域等への土地利用の制限等による土地利用の適正化を進める。



岡山市における誘導区域図

【先導例】立地適正化計画に基づき、3m以上浸水想定される区域の居住誘導区域への適用を除外（岡山市）

流域治水への住民参加の取組

大規模な施設整備を行う民間企業等と連携した貯留機能の強化

- ・岡山市では、企業の本社・支社、大規模な商業施設、卸売・小売り業、サービス業の拠点等が集中しており、これら大規模な施設整備を行う民間企業と連携した貯留施設の整備等が有効である。
- ・このため、民間事業主への新規整備・更新に合わせた貯留施設の整備・増強等への働き掛け等に取り組む。



住民参加型の継続的な堆砂、樹林化の抑制対策

- ・中流から河床勾配が緩やかになり、土砂堆積による砂洲の形成や樹林化が進行しやすいため、予算等の制約の中で継続的な抑制対策の実現が必要不可欠となっている。
- ・このため、伐採した樹木の住民利用によるコスト縮減や樹木の再繁茂防止に向けた河川利用の促進など、住民参加型の継続的な堆砂、樹林化の抑制対策を進める。



【先導例】百間川では伐採した樹木の搬出処理を一般公募して処分費用を抑制。